「自閉症スペクトラムを有する労働者(以下 ASD 労働者)が職場不適応をきたした場合に産業医が行う適切な支援方法」 H24 版

本研究は、厚生労働科学研究費補助金 労働安全衛生総合研究事業「職場における新たな精神疾患罹患労働者に対するメンタルヘルスのあり方に関する研究」の一環で実施された。

職場で継続的に働いていくために必要な要素	
1	本人が自分自身の障害特性について理解していること
2	障害の特性に合った業務であること
3	上司が本人の障害の特性を理解していること
4	同僚が本人の障害の特性を理解していること
5	休憩時間の過ごし方や業務外の人間関係などで問題が生じないような工夫がされていること
6	本人を支援する人が職場にいること
7	本人が理解できるような指導があること
8	職場での不適応が起こった際に早期に対応されること
9	職場での配慮は周囲が納得できる配慮であること
10	多様性を許容する職場であること
11	本人の仕事の成果が適切に評価される職場であること
12	継続した支援があること
13	上司や同僚の中に本人の特性を理解し、支援する人が複数いること
14	本人に業務を指示するもしくは指導する場合は、本人が理解しやすい方法で実施されること
15	必要に応じて、主治医や障害者職業センター、発達障害者支援センターなどの専門機関の支援があること
16	必要に応じて、産業保健スタッフの支援があること
産業医が行う支援	
1	産業医は、主治医に本人の特性と、それに対応する際の留意点を確認する
2	産業医は、主治医に対して、職場で求められている業務遂行能力、実際の本人の就業状況、職場で生じている問題点について情報提供を行う
3	産業医は、障害の開示（開示をする人・方法）について、本人や家族の意思を尊重する
4	産業医は、本人の同意を得た範囲で、上司・同僚へ障害特性について説明する
5	産業医は、本人の能力を活かせる業務に就くことを、上司および人事へ助言する
6	産業医は、本人の苦手とする業務は外すように、上司および人事へ助言する
7	産業医は、本人に対する業務の指示方法について、上司へ助言する
8	産業医は、本人の上司・同僚を支援する
9	産業医は、本人との信頼関係を構築・継続するよう努める
10	産業医は、職場で生じた問題を解決する為に解決策を本人・上司と共に検討する。
11	産業医は、職場で失敗体験を重ねないようにするための工夫を本人・上司と共に検討する
12	産業医は、上司・同僚の異動などによる職場環境の変化が生じた際にも、本人へ継続した支援が行われるよう観察する

産業医がすべきでないこと	
1	産業医は、ASD 労働者の同意なしに上司や人事に診断名を開示する
2	産業医が本人の能力を否定するような発言をする
産業医が理解する必要があること	
1	自閉症スペクトラム障害の一般的特徴と職場で生じやすい問題について理解している
2	ASD 労働者に対して行われる一般的な業務への工夫（「構造化」「複数の仕事を指示しない」）について理解している
3	同一の障害であっても個人差があることを理解している
4	自閉症スペクトラム障害の診断や障害の特性の評価は容易ではないことを理解している
5	成人後診断を受けた場合は、障害の受け入れや障害の認知に困難を伴う場合があることを理解している
6	ASD 労働者は社会生活上さまざまな困難に直面していることを理解している
7	ASD 労働者は社会生活上の困難さなどを理由にうつ病等の二次的な障害を引き起こすことがあることを理解している
8	自閉症スペクトラム障害が治療すべき対象(治るもの)ではないと理解している
9	ASD 労働者は環境の変化に弱いことを理解している
10	ASD 労働者のうちに余暇の使い方が苦手な人がいることを理解している
11	ASD 労働者のうちに、自己肯定感が低下している人がいることを理解している
12	ASD 労働者のうちに、感謝を表現するのが苦手な人がいることを理解している
13	ASD 労働者のうちに、自己評価が苦手な人がいることを理解している
14	ASD 労働者のうちに、体調管理が不得手な人がいることを理解している
15	ASD 労働者は得意とする領域については、一般平均を超える能力を発揮することがあることを理解している
16	ASD 労働者は主治医へ健康状態や職場の情報を十分に伝えていないことがあることを理解している
17	職場で生じた問題のために職場が混乱することがあるということを理解している
18	本人と支援者双方のために、支援者は複数人のチームであることが良いと理解している
19	利用出来る地域資源として、地域障害者職業センター、発達障害者支援センター、障害者就業・生活支援センターがあることを理解している
20	ASD 労働者が利用できる障害者雇用制度について理解している
21	ASD 労働者のうちに、他者には了解しがたい「こだわり」を持っている人もいることを理解している
22	ASD 労働者は、情報を理解する（聞き取る）ことに困難を持っていることを理解している
23	自閉症スペクトラム障害を有することが疑われる労働者に対して診断を促すことは、その後の支援がなければ本人にとって不利益が多い可能性があることを理解している